

手引きの発行にあたり

避難所はさまざまな方が共同生活を送る場であり、過去に発生した大きな災害では、飼い主の準備不足、避難所においてペットの受入れ体制が十分整っていなかったことによるトラブルが発生しています。ともに災害を乗り越えるためには、ペットと避難してきた方、避難所運営者、その他避難所に避難してきた方が理解し、助け合うことが大切です。あらゆる立場の方にこの手引きをご覧いただき、人とペットが安心して避難生活を送れる一助となれば幸いです。

人とペットの災害対策の考え方

自助が基本!

普段から飼い主が防災対策を進める「自助」と、地域の飼い主同士などが協力しあう「共助」、そして自治体が避難所の受入れ体制を整備する「公助」がうまくかみ合うことが重要です。避難所ではペットよりも人への対応を最優先に進めざるを得ない事情もあることから、飼い主は自ら責任をもって世話をし、管理に協力する必要があります。

自助

飼い主

- 避難所の確認
- キャリーバッグ・ケージの準備
- ペット用持ち出し袋の準備
- マイクロチップの装着 など

共助

地域の飼い主 親せきなど

- 防災訓練などを通じた、地域の飼い主同士の交流
- 避難所でのペットの自主的な飼育管理
- ペットの一時預かり

公助

自治体

- ペット受入れ体制の整備
- ペット同行避難訓練の実施
- ペット同行避難の周知

ペットとの同行避難

災害時には、ペットを落ち着かせ、迷子にさせないように注意して、ペットとともに避難場所まで避難する「同行避難※」をしましょう。

※避難所で、人とペットが同一の空間で居住できることを意味するものではありません。

過去の震災では、いったん避難した飼い主がペットを避難させるために自宅に戻って災害に巻き込まれたことがありました。

同行避難は、ペットを救う目的もありますが、飼い主の安全を確保することも重要な目的です。

ペットとの同行避難は、避難所に避難するほかに、ペットホテルに預ける、親せき宅に避難する、自宅が安全であれば在宅避難などの方法もあります。安全に避難する方法を日頃から検討しておきましょう。

目次

飼い主編

1. 日頃の備え

- 01. 住まいや飼育場所の防災対策 5 ページ
- 02. ペットのしつけと健康管理 5 ページ
- 03. ペットが行方不明にならない対策 6 ページ
- 04. ペット用の避難用品や備蓄品の確保 7 ページ
- 05. 安全な避難のための情報収集 8 ページ

2. 災害時の対応

- 01. 災害が発生したら(人とペットの安全確保) 9 ページ
- 02. どこに避難するか(避難する場所の選択) 9 ページ
 - ・ 災害時のフロー図 10 ページ
- 03. 避難所についたら(飼い主が行うこと) 11 ページ
 - ・ 避難所でのペット飼育事例 (東日本大震災の対応) 12 ページ

運営者編

3. 日頃の備え

- 01. 避難所における3つの備え 13 ページ
- 02. 飼育スペースの検討 14 ページ
 - ・ 飼育スペースの検討(屋内) 15 ページ
 - ・ 飼育スペースの検討(屋外) 16 ページ
- 03. 受入れ条件の検討 17 ページ
- 04. 飼育ルールの検討 18 ページ
- 05. 飼い主・地域の方への周知 20 ページ

4. 災害時の対応

- 01. ペット飼育スペースの設置 21 ページ
- 02. 同行避難者の受付・ペット台帳の作成 21 ページ
- 03. 名札の配付 22 ページ
- 04. 飼育スペース・飼育ルールの説明 22 ページ
 - ・ スターターキットとは 22 ページ

付録・もしもの準備は大丈夫? ・ ペット用避難用品チェックリスト ・ ペットの情報記入シート